

令和3年度

# 旭区民アンケート報告書

「旭区将来ビジョン 2022

～安心して住み続けられるあたたかいまち 旭区～」



旭区マスコットキャラクター

「しょうぶちゃん」

大阪市旭区役所

## も く じ

【Ⅰ】 調査の概要	6
-----------	---

### 【Ⅱ】 調査結果

#### 【1】 子育て・教育環境の一層の充実に向けた取組について

- 問1. 旭区役所では、子育てを見守るツールとして、未就学児を対象に「あさひキッズカード（※）」を配付しています。あさひキッズカードをご存じですか？・・・7
- 問2. 旭区役所では、平成31（令和元）年度から新たに、妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援ができるように、保健師が地区別に担当（地区担当制）をしています。ご存じですか？・・・8
- 問3. 旭区役所では、“安心して子育てできるまち”をめざして、子育てを支援する事業（あさひプレパパママレッスン、ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム、お母さんのほっと！タイム、子育てわいわい広場など）を実施しています。ご存じですか？・・・9
- 問4. 旭区役所では、独自の取組として「あさひプレパパママレッスン」（妊婦及びそのパートナーを対象とした教室）や「おかあさんのほっと！タイム」（子育て中のお母さんを対象とした講座の一つ）などのイベントに加え、気軽にいつでも相談してもらえるよう「あさひ子育て相談メール」を実施しています。これらの取組が、子育て中の家族の方がさまざまなことについて、相談やサポートを受けられることになっていると思いますか？・・・10
- 問5. 地域において、子どもが気軽に立ち寄れる居場所づくりとして、「こども食堂」の取組が進んでいます。こども食堂は、ボランティアで運営されており、食材の調達も寄付等で賄われています。「こども食堂」の活動に対する協力について、あてはまるものをすべて選んでください。・・・11

#### 【2】 暮らしを守る福祉などの向上に向けた取組について

- 問6. 旭区役所では、「あさひ健康フェスタ&食育フェスタ（健康に関する催し）」や「いきいき百歳体操（おもりを使った簡単な体操）」の普及など、健康意識の高揚に向けたイベントの開催などに取り組んでいます。これらの取組が、区民の健康意識の向上につながると考えますか？・・・12

- 問 7. 区民一人ひとりが健康の重要性を意識し、生活習慣病や認知症の予防及び早期発見・早期治療を実践することが重要です。  
以前に比べ、あなた自身の健康意識が高まっていると思いますか？・・・13
- 問 8. 障がいのある方やその家族の方の相談に応じて、福祉サービスの利用援助など地域における生活を支援する機関「旭区障がい者基幹相談支援センター（所在地：大宮 1-13-6）」をご存じですか？  
（各区に1つ設置されています）・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
- 問 9. 障がいのある方の、自立の社会参加、相談支援体制の充実、権利擁護などに取り組む「旭区地域自立支援協議会」をご存じですか？・・・・・・・・・・15
- 問 10. 障がいのある方を対象としたサービス・事業に関する情報はどのように入手されていますか？あてはまるものをすべて選んでください。・・・・16
- 問 11. 旭区では、障がいのある方やその家族の方がさまざまなことについて、相談やサポートを受けられるようになっていると思いますか？・・・・・・・・17
- 問 12. 障がい者施策に関して、今後充実すべきと思うことは何ですか？  
3つまで選んでください。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
- 問 13. 旭区において区域を3つのエリアに分け、それぞれ高齢者の支援機関として活動している「地域包括支援センター※」をご存じですか？・・・・・・・・19
- 問 14. 地域包括支援センターの役割の一部を担う出張所の総合相談窓口（ランチ※）をご存じですか？・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
- 問 15. 認知症の方やそのご家族を支援するための、医師・医療職・福祉の専門員で構成する「認知症初期集中支援チーム（あさひさんさんオレンジチーム（所在地：新森 5-3-17））」をご存じですか？・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
- 問 16. 旭区広報紙「広報あさひ」9月号に地域包括支援センターの紹介など、高齢者に関する特集を掲載しましたが、ご覧になられましたか？（9月は「高齢者福祉月間」です）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
- 問 17. 高齢者の方を対象としたサービス・事業に関する情報はどのように入手されていますか？あてはまるものをすべて選んでください。・・・・・・23
- 問 18. 旭区では、高齢の方やその家族の方がさまざまなことについて、相談やサポートを受けられるようになっていると思いますか？・・・・・・・・・・24

- 問 19. 高齢者施策に関して、今後充実すべきと思うことは何ですか？  
3つまで選んでください。・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

**【3】 地域コミュニティの活性化とまちの魅力の創出に向けた取組について**

- 問 20. 旭区役所では、地域の各種団体と協働で、コミュニティ活性化のための催しを開催しています。次の中から、知っている催しをすべて選んでください。・26

- 問 21. 旭区役所では、「区民まつり（8月）」、「旭区の秋・冬を楽しもう!!（11月）」、「スポーツフェスティバル（11月）」、「総合文化祭（3月開催予定）」を開催するなど、地域の活性化に取り組んでいます。旭区において、地域のにぎわいや活性化が進んでいると思いますか？・・・・・・・・・・27

- 問 22. 旭区役所では、区を誇りに思い、郷土愛や愛着を深めてもらうとともに、多くの人々が訪れる活気あるまちの実現に向けて各種イベントの開催などに取り組んでいます。あなたは、旭区に愛着を感じますか？・・・・・・・・28

- 問 23. 区内の商店街ではイベントを行うなど地域とのつながりを大切にしています。あなたは、旭区内の商店街に魅力を感じますか？・・・・・・・・・・29

- 問 24. 旭区役所では、旭区の魅力向上のために、「旭区ブランド（いち押しを含む）」・「旭わがまちお宝」を認定していますが、その取組をご存知ですか？・・30

- 問 25. 《問 24 で選択肢「1」を選ばれた方にお聞きします》  
「旭区ブランド（いち押しを含む）」・「旭わがまちお宝」をどこで  
知りましたか？・・・・・・・・・・・・・・・・・・31

- 問 26. 旭区では、区の魅力を高める取組を行っています。  
あなたが、旭区の魅力として紹介したいものはありますか？・・・・・・・・32

**【4】 地域防災力・地域防犯力の強化に向けた取組について**

- 問 27. 災害に備えて、避難所や避難経路の確認、物資の備蓄、非常用持ち出し袋、家具の転倒防止策など自助の取組が大切です。あなたの家庭では、何らかの防災対策をとっていますか？次の中から、行っている対策をすべて選んでください。・・・・・・・・・・・・・・・・・・33

**【5】 広報について**

- 問 28. 旭区の区政情報やイベント情報を何から入手していますか？あてはまるものをすべて選んでください。・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

**【6】 あなたご自身についてお聞きします**

- 問 29. あなたの性別をお答えください。・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

- 問 30. あなたの年齢をお答えください。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
- 問 31. 旭区にお住まいになられてどれくらいになりますか？・・・・・・・・・・ 37
- 問 32. 現在お住まいの地域をお答えください。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
- 問 33. 現在、中校生以下のお子さまの子育てをしていますか？  
なお、「子育てをしている」の場合は（ ）内の区分のうち、お子さまに  
該当するものすべてに☑を付けてください。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

## 【I】 調査の概要

### (1) 調査の目的

本区では、2022年に向けて、旭区のめざすべき将来の姿を取りまとめた「旭区将来ビジョン 2022～安心して住み続けられるまち 旭区～」を平成30年3月に策定しました。

同ビジョンでは、優先的に取り組む項目として、「安心して子育てできるまち」、「やさしさあふれるまち」、「活力あるまち」、「安全に暮らせるまち」の4つの柱を掲げています。

今回のアンケートでは、今後の取組みの参考とするために、区民のみなさまにお伺いし、区政運営の参考資料を得ることを目的としています。

### (2) 調査の実施状況

- ①調査期間 令和4年1月6日（木）～ 1月21日（金）
- ②調査方法 調査票の送付による配布と返信封筒による回収
- ③調査対象 住民基本台帳から無作為に抽出した18歳以上の旭区民  
(令和3年11月末現在) 1,600名

### (3) 調査の回収状況

ア 配布数	1,600件
イ 未配達分（宛先不明）	31件
ウ 有効発送数（ア－イ）	1,569件
エ 郵送回収数	791件
オ 有効回収数	791件
エ 有効回収率（オ÷ウ）	50.41%

### (4) 報告書の見方

- 特にことわりのない場合は、全て複数の選択肢から1つだけを選択して回答する間となっております。
- 結果数値は、小数点第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがあります。
- 複数回答の場合、回答者数に対する割合を表しているため、構成比の合計が100%にならないことがあります。
- 性別の「その他」には、回答したくない方を含んでおります。

## 【Ⅱ】 調査結果

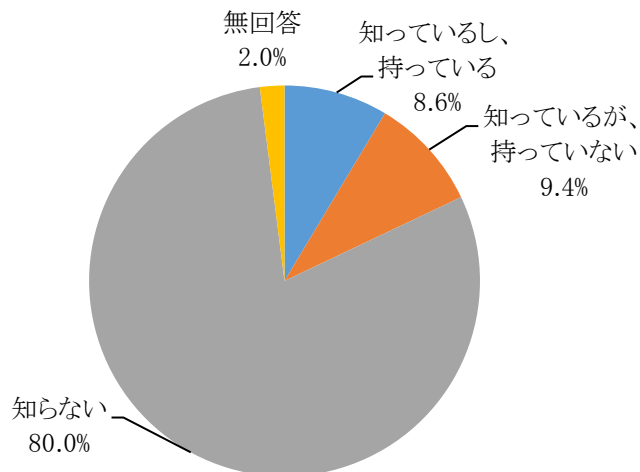
### 【1】 子育て・教育環境の一層の充実に向けた取組について

問1. 旭区役所では、子育てを見守るツールとして、未就学児を対象に「あさひキッズカード（※）」を配付しています。

あさひキッズカードをご存じですか？ n=791

※平成26年4月から発行しています。乳幼児健診の受診状況などを記録できる他、スタンプラリー(スタンプが貯まれば、プレゼントあり)や登録店舗(令和3年11月末日時点で52店舗)で割引などが受けられる特典もあります。

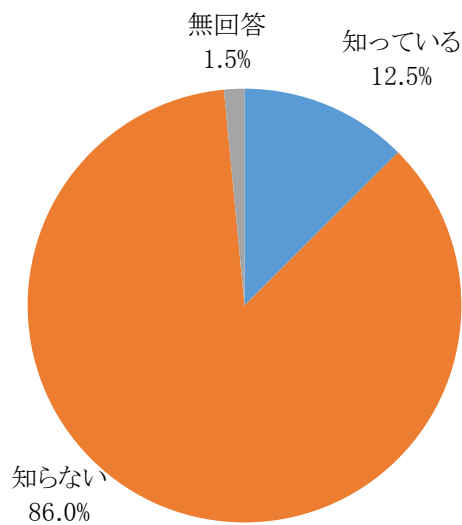
	項目	全体	割合
1	知っているし、持っている	68	8.6%
2	知っているが、持っていない	74	9.4%
3	知らない	633	80.0%
99	無回答	16	2.0%
	合計	791	100.0%



全体的傾向	「知らない」(80.0%)が最も多く、次いで「知っているが、持っていない」(9.4%)、「知っているし、持っている」(8.6%)となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「知らない」が最も多くなっています。次いで「18歳～49歳」の方は「知っているし、持っている」、「50歳以上」の方は「知っているが、持っていない」が多くなっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「知らない」が最も多くなっています。次いで「10年未満」の方は「知っているし、持っている」、「10年以上」の方は「知っているが、持っていない」が多くなっています。
子育て世帯別傾向	小学校就学前の子育てをしている世帯と小学生の子育てをしている世代で「知っているし、持っている」が最も多くなっています。その他の世帯では「知らない」が最も多くなっています。

問2. 旭区役所では、平成31（令和元）年度から新たに、妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援ができるように、保健師が地区別に担当（地区担当制）をしています。ご存じですか？ n=791

	項目	全体	割合
1	知っている	99	12.5%
2	知らない	680	86.0%
99	無回答	12	1.5%
	合計	791	100.0%



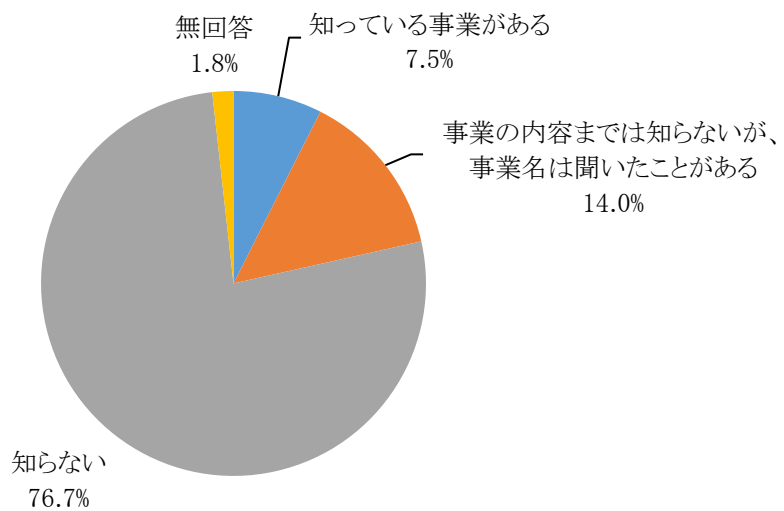
全体的傾向	全体では「知らない」(86.0%)が最も多く、次いで「知っている」(12.5%)、となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「知らない」が最も多くなっています。「知っている」が最も多いのが「30歳～39歳」代となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「知らない」が最も多くなっています。「10年未満」の方は「知っている」が20%以上となっています。
子育て世帯別傾向	小学校就学前の子育てをしている世帯以外では「知らない」が最も多くなっています。小学生の子育てをしている方は「知っている」が37.5%となっています。



問3. 旭区役所では、“安心して子育てできるまち”をめざして、子育てを支援する事業（あさひプレパパママレッスン、ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム、お母さんのほっと！タイム、子育てわいわい広場 など）を実施しています。ご存じですか？

n=791

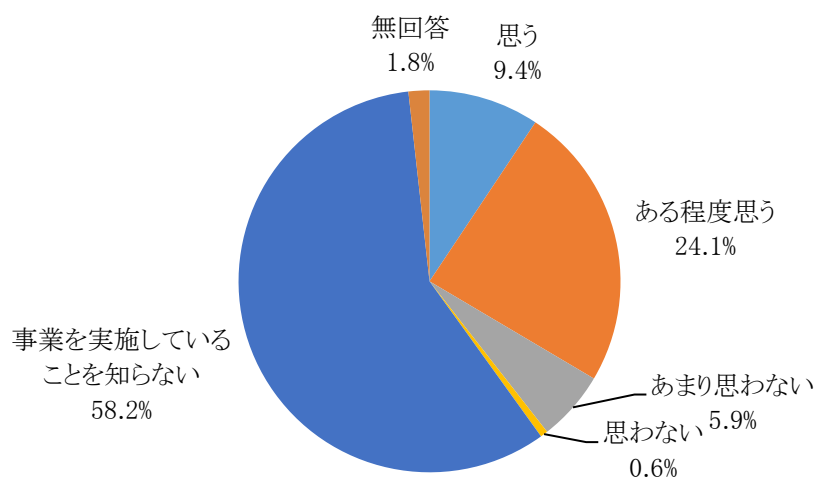
	項目	全体	割合
1	知っている事業がある	59	7.5%
2	事業の内容までは知らないが、事業名は聞いたことがある	111	14.0%
3	知らない	607	76.7%
99	無回答	14	1.8%
合計		791	100.0%



全体的傾向	「知らない」(76.7%)が最も多く、次いで「事業の内容までは、知らないが、事業名は聞いたことがある」(14.0%)、「知っている事業がある」(7.5%)となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「知らない」が最も多くなっています。次いで「事業の内容までは、知らないが、事業名は聞いたことがある」が多くなっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「知らない」が最も多くなっています。次いで5年以上10年未満は「知っている事業がある」、その他の居住年数では「事業の内容までは、知らないが、事業名は聞いたことがある」が多くなっています。
子育て世帯別傾向	小学校就学前の子育てをしている世帯以外「知らない」が最も多くなっています。小学校就学前の子育てをしている世帯と小学生の子育てをしている世帯は「知っている事業がある」、中学生の子育てをしている世帯と子育てをしていない世帯では「事業の内容までは、知らないが、事業名は聞いたことがある」が多くなっています。

問4. 旭区役所では、独自の取組として「あさひプレパパママレッスン」(妊婦及びそのパートナーを対象とした教室)や「おかあさんのほっと!タイム」(子育て中のお母さんを対象とした講座の一つ)などのイベントに加え、気軽にいつでも相談してもらえるよう「あさひ子育て相談メール」を実施しています。これらの取組が、子育て中の家族の方がさまざまなことについて、相談やサポートを受けられることになっていると思いますか? n=791

	項目	全体	割合
1	思う	74	9.4%
2	ある程度思う	191	24.1%
3	あまり思わない	47	5.9%
4	思わない	5	0.6%
5	事業を実施していることを知らない	460	58.2%
99	無回答	14	1.8%
合計		791	100.0%

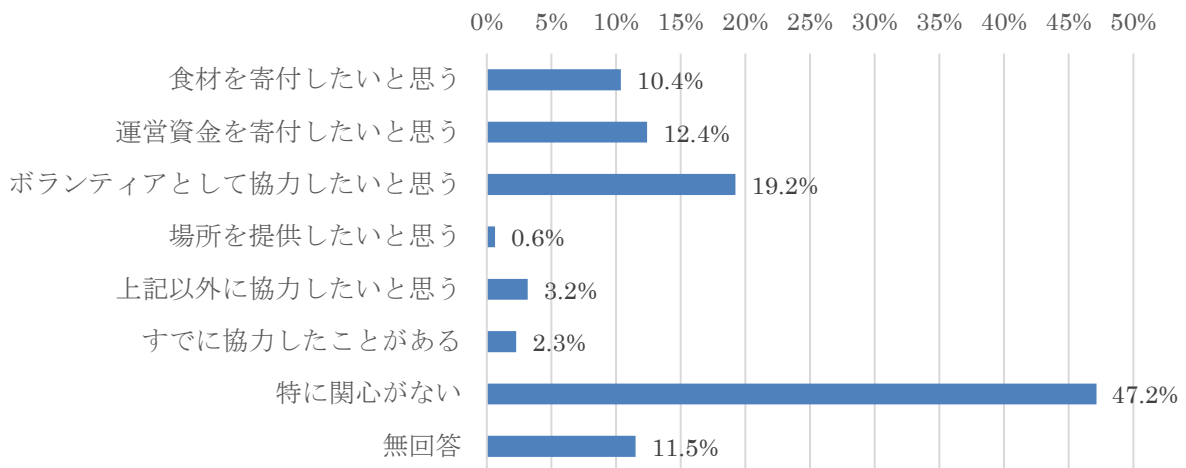


全体的傾向	「事業を実施していることを知らない」(58.2%)が最も多く、次いで「ある程度思う」(24.1%)、「思う」(9.4%)、「あまり思わない」(5.9%)、「思わない」(0.6%)となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「事業を実施していることを知らない」が最も多くなっています。次いで「ある程度思う」が多くなっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「事業を実施していることを知らない」が最も多くなっています。次いで5年以上10年未満と10年以上20年未満で「ある程度思う」が30%以上となっています。
子育て世帯別傾向	小学校就学前と小学生の子育てをしている世帯で「ある程度思う」が50%以上となっています。子育てをしていない世帯は「事業を実施していることを知らない」が60%以上と最も多くなっています。

問5. 地域において、子どもが気軽に立ち寄れる居場所づくりとして、「こども食堂」の取組が進んでいます。こども食堂は、ボランティアで運営されており、食材の調達も寄付等で賄われています。  
「こども食堂」の活動に対する協力について、あてはまるものをすべて選んでください。  
n=844

※旭区内では、NPO 法人や個人の皆さんにより、12 か所でこども食堂が開催されています(令和3年11月末時点)。なお、こども食堂に協力されたい場合は、各こども食堂、旭区役所、旭区社会福祉協議会にお問い合わせください。

	項目	全体	割合
1	食材を寄付したいと思う	82	10.4%
2	運営資金を寄付したいと思う	98	12.4%
3	ボランティアとして協力したいと思う	152	19.2%
4	場所を提供したいと思う	5	0.6%
5	上記以外に協力したいと思う	25	3.2%
6	すでに協力したことがある	18	2.3%
7	特に関心がない	373	47.2%
99	無回答	91	11.5%
	合計	844	106.7%

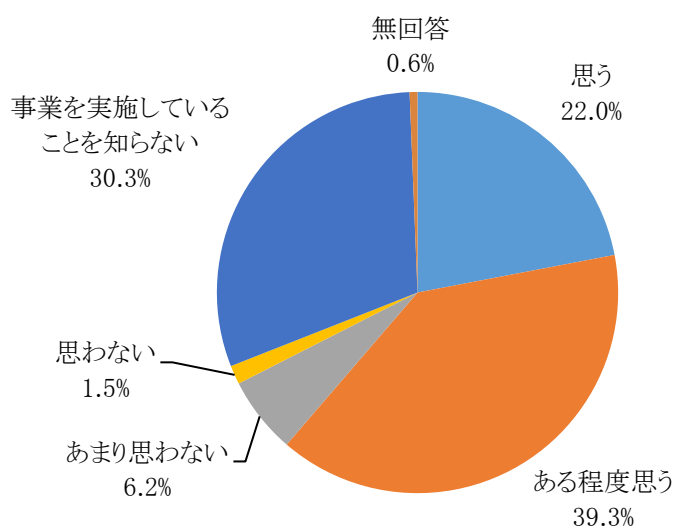


全体的傾向	「特に関心がない」が最も多く、47.2%でした。反対に「場所を提供したいと思う」は0.6%と最も少なくなっています。
年齢別傾向	全ての年代で「特に関心がない」が多くなっています。「特に関心がない」割合は70歳～79歳が最も高く49.1%、次いで60歳～69歳の46.7%でした。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「特に関心がない」が多くなっています。「特に関心がない」割合は20年以上30年未満が最も高く52.4%でした。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「特に関心がない」が多くなっています。「特に関心がない」割合が最も多いのは子育てをしていない世帯で46.3%でした。

## 【2】暮らしを守る福祉などの向上に向けた取組について

問6. 旭区役所では、「あさひ健康フェスタ&食育フェスタ（健康に関する催し）」や「いきいき百歳体操（おもりを使った簡単な体操）」の普及など、健康意識の高揚に向けたイベントの開催などに取り組んでいます。  
これらの取組が、区民の健康意識の向上につながると感じますか？ n=791

	項目	全体	割合
1	思う	174	22.0%
2	ある程度思う	311	39.3%
3	あまり思わない	49	6.2%
4	思わない	12	1.5%
5	事業を実施していることを知らない	240	30.3%
99	無回答	5	0.6%
	合計	791	100.0%

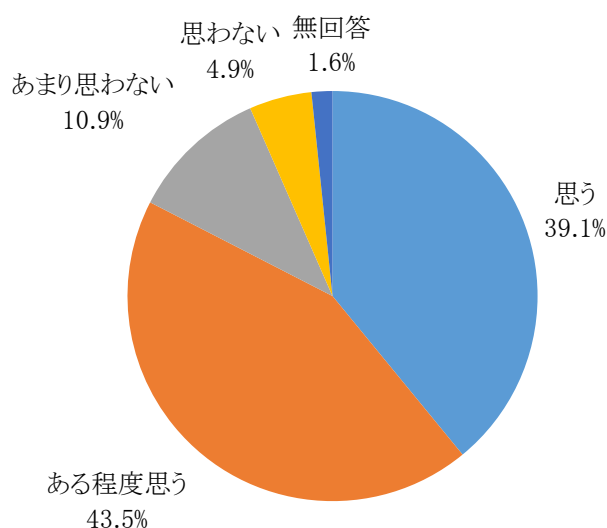


全体的傾向	「ある程度思う」が最も多く、39.3%となっています。次いで「事業を実施していることを知らない」が30.3%となっています。
年齢別傾向	40代～80代の年代で「ある程度思う」が最も多くなっています（それぞれ45.0%、45.6%、44.8%、36.2%）。
居住年数別傾向	5年以上10年未満、10年以上20年未満、20年以上30年未満、30年以上の居住年数で「ある程度思う」が最も多くなっています（それぞれ43.5%、43.4%、37.8%、40.4%）。
子育て世帯別傾向	小学生の子育てをしている世帯で「ある程度思う」が最も高く54.2%、次いで割合が高いのは、小学校就学前の子育て世帯で51.6%となっています。

問7. 区民一人ひとりが健康の重要性を意識し、生活習慣病や認知症の予防及び早期発見・早期治療を実践することが重要です。

以前に比べ、あなた自身の健康意識が高まっていると思いますか？ n=791

	項目	全体	割合
1	思う	309	39.1%
2	ある程度思う	344	43.5%
3	あまり思わない	86	10.9%
4	思わない	39	4.9%
99	無回答	13	1.6%
合計		791	100.0%

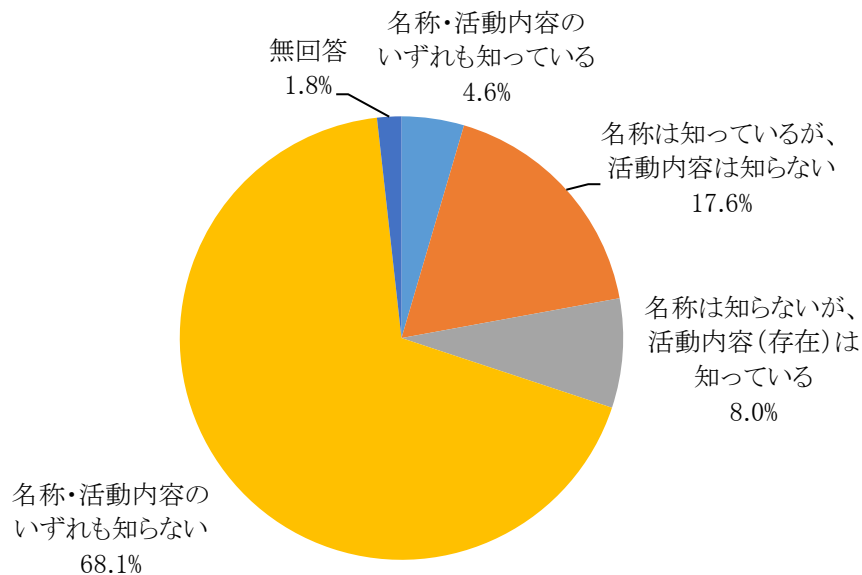


全体的傾向	「ある程度思う」が最も多く、43.5%でした。次いで「思う」39.1%、「あまり思わない」10.9%、「思わない」4.9%となっています。
年齢別傾向	70歳～79歳、80歳以上の年代は「思う」が最も多く、60代以下の年代は「ある程度思う」の割合が最も高くなっています。
居住年数別傾向	30年以上の居住年数では「思う」が最も高く44.7%となっています。30年未満の世帯では「ある程度思う」が最も多くなっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「ある程度思う」が最も多くなっています。子育てをしていない世帯では、「思う」の割合が全世帯で最も高く41.7%となっています。

問 8. 障がいのある方やその家族の方の相談に応じて、福祉サービスの利用援助など地域における生活を支援する機関「旭区障がい者基幹相談支援センター（所在地：大宮 1-13-6）」をご存じですか？（各区に1つ設置されています）

n=791

	項目	全体	割合
1	名称・活動内容のいずれも知っている	36	4.6%
2	名称は知っているが、活動内容は知らない	139	17.6%
3	名称は知らないが、活動内容(存在)は知っている	63	8.0%
4	名称・活動内容のいずれも知らない	539	68.1%
99	無回答	14	1.8%
	合計	791	100.0%

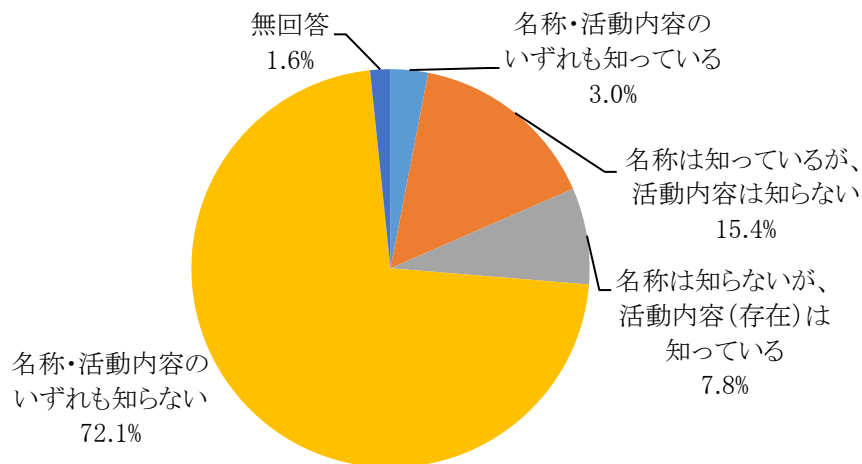


全体的傾向	「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も多く、68.1%となっています。次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」が17.6%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も多くなっています。80歳以上は「名称は知っているが、活動内容は知らない」の割合が全ての年代の中で最も高くなっています。
居住年数別傾向	全ての世帯で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も多くなっています。20年以上30年未満の世帯では「名称は知っているが、活動内容は知らない」の割合が全ての年代の中で最も高くなっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も多くなっています。小学校就学前の子育てをしている世帯では「名称は知っているが、活動内容は知らない」の割合が全ての年代の中で最も高く19.4%となっています。

問9. 障がいのある方の、自立の社会参加、相談支援体制の充実、権利擁護などに取り組む「旭区地域自立支援協議会」をご存じですか？ n=791

※相談を受ける事業所のスキルアップのための研修会、相談会や子育て応援セミナー、区役所や千林商店街での授産製品の販売などに取り組んでいます。

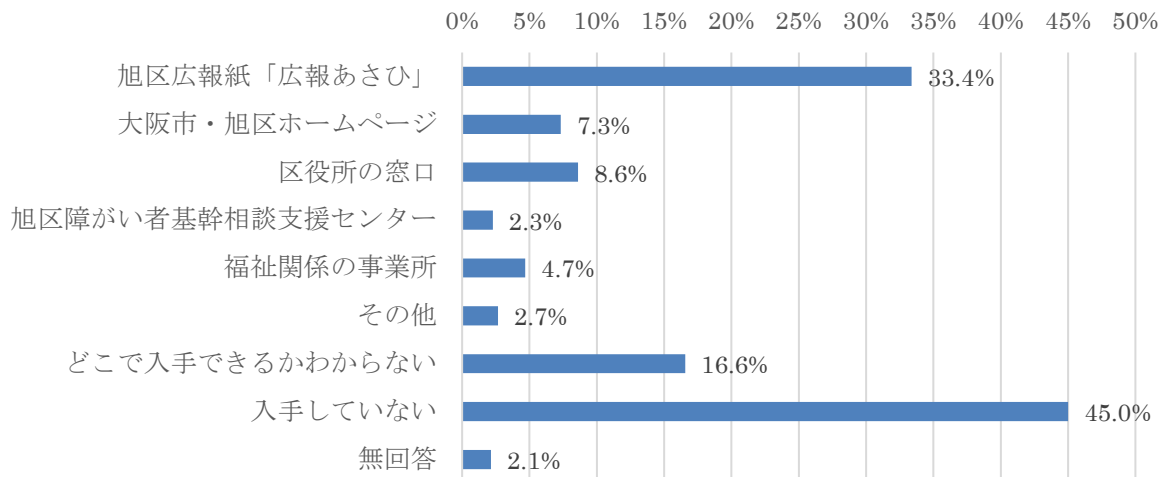
	項目	全体	割合
1	名称・活動内容のいずれも知っている	24	3.0%
2	名称は知っているが、活動内容は知らない	122	15.4%
3	名称は知らないが、活動内容(存在)は知っている	62	7.8%
4	名称・活動内容のいずれも知らない	570	72.1%
99	無回答	13	1.6%
	合計	791	100.0%



全体的傾向	全体では「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、72.1%でした。次いで「名称は知っているが・活動内容は知らない」で15.4%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高くなっています。70歳～79歳は、全ての年代の中で「名称は知っているが・活動内容は知らない」の割合が最も高く23.3%となっています。
居住年数別傾向	全ての世帯で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高くなっています。10年以上～20年未満の世帯は、全ての世帯の中で「名称は知っているが・活動内容は知らない」の割合が最も高く16.1%となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高くなっています。最多は小学校就学前の子育て世帯で85.5%となっています。

問 10. 障がいのある方を対象としたサービス・事業に関する情報はどのように入手されていますか？あてはまるものをすべて選んでください。 n=970

	項目	全体	割合
1	旭区広報紙「広報あさひ」	264	33.4%
2	大阪市・旭区ホームページ	58	7.3%
3	区役所の窓口	68	8.6%
4	旭区障がい者基幹相談支援センター	18	2.3%
5	福祉関係の事業所	37	4.7%
6	その他	21	2.7%
7	どこで入手できるかわからない	131	16.6%
8	入手していない	356	45.0%
99	無回答	17	2.1%
	合計	970	122.6%

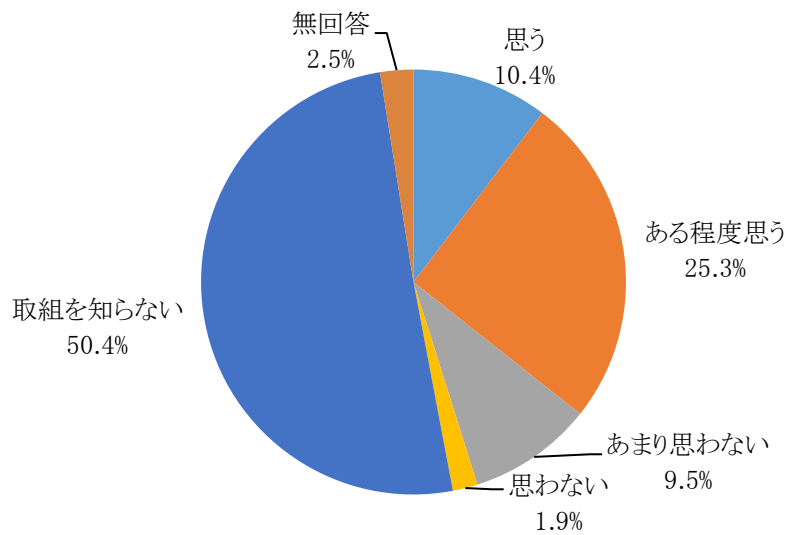


全体的傾向	全体では、「入手していない」が最も高く 45.0%でした。次いで「旭区広報紙「広報あさひ」」が 33.4%となっています
年齢別傾向	18 歳～29 歳、30 歳～39 歳、40 歳～49 歳、50 歳～59 歳では「入手していない」と回答された割合が高くなっています。一方 60 代以上は「旭区広報紙「広報あさひ」」と回答された割合が高く 70～79 歳は 37.6%と全ての年代で最も高くなっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「入手していない」が最も高くなっています。最も割合が高い世帯は、5 年以上 10 年未満で 45.2%となっています。「旭区広報紙「広報あさひ」」と回答された割合が高い世帯は 30 年以上で 32.0%となっています。
子育て世帯別傾向	全ての子育て世帯で「入手していない」が高く、最も割合が高い世帯は、小学校就業前の子育て世帯で 50.0%となっています。「旭区広報紙「広報あさひ」」と回答された割合が高い世帯は、中学生の子育てをしている世帯で 31.8%となっています。



問 11. 旭区では、障がいのある方やその家族の方がさまざまなことについて、相談やサポートを受けられるようになってきていると思いますか？ n=791

	項目	全体	割合
1	思う	82	10.4%
2	ある程度思う	200	25.3%
3	あまり思わない	75	9.5%
4	思わない	15	1.9%
5	取組を知らない	399	50.4%
99	無回答	20	2.5%
	合計	791	100.0%



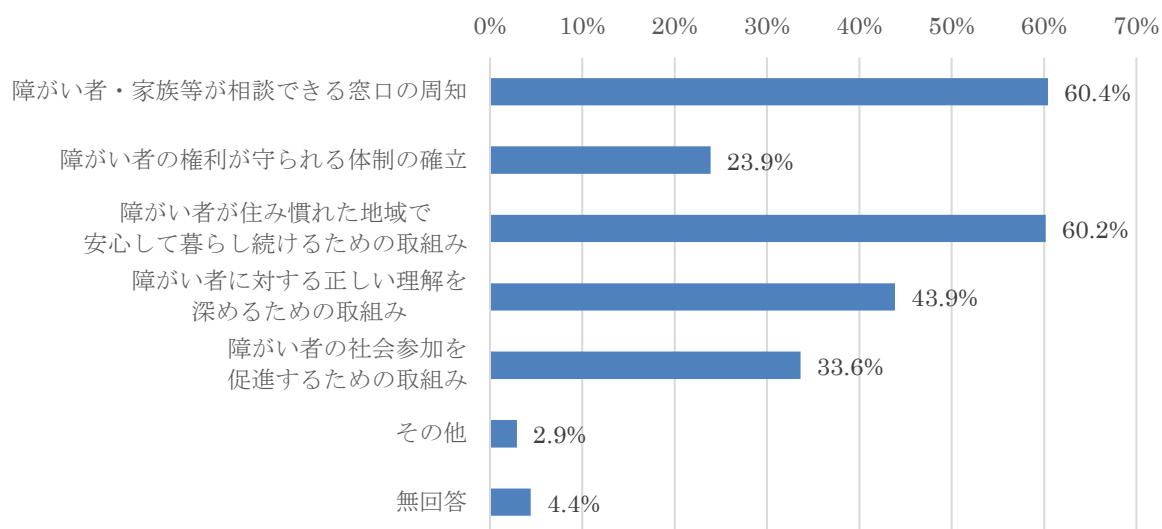
全体的傾向	「取組を知らない」と回答された方が最も多く、50.4%となっています。次いで「ある程度思う」25.3%、「あまり思わない」9.5%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「取組を知らない」が最も多く、最多は40歳～49歳で60.6%となっています。
居住年数別傾向	全ての世帯では「取組を知らない」が最も多く、最多は5年以上10年未満で67.7%となっています。
子育て世帯別傾向	全ての子育て世帯で「取組を知らない」が最も多く、最多は小学校就業前の子育て世帯で56.5%となっています。次いで小学生の子育て世帯は56.3%となっています。

問 12. 障がい者施策に関して、今後充実すべきと思うことは何ですか？

3つまで選んでください。

n=1,814

	項目	全体	割合
1	障がい者・家族等が相談できる窓口の周知	478	60.4%
2	障がい者の権利が守られる体制の確立	189	23.9%
3	障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための取組み	476	60.2%
4	障がい者に対する正しい理解を深めるための取組み	347	43.9%
5	障がい者の社会参加を促進するための取組み	266	33.6%
6	その他	23	2.9%
99	無回答	35	4.4%
	合計	1,814	229.3%



全体的傾向	全体では「障がい者・家族等が相談できる窓口の周知」が最も多く、60.4%となっています。次いで「障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための取組み」60.2%となっています。
年齢別傾向	「障がい者・家族等が相談できる窓口の周知」と回答された割合が最も高いのは、60歳～69歳で29.5%でした。一方、18歳～29歳が最も低い結果となりました。
居住年数別傾向	10年以上20年未満では「障がい者・家族等が相談できる窓口の周知」と回答された割合が最も高く28.0%でした。「障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための取組み」と回答された割合が最も高い世帯は、30年以上の世帯で28.1%でした。
子育て世帯別傾向	「障がい者・家族等が相談できる窓口の周知」と回答された割合が最も高い世帯は、子育てをしていない世帯で26.8%でした。一方、小学生の子育てをしている世帯が最も低い結果となりました。

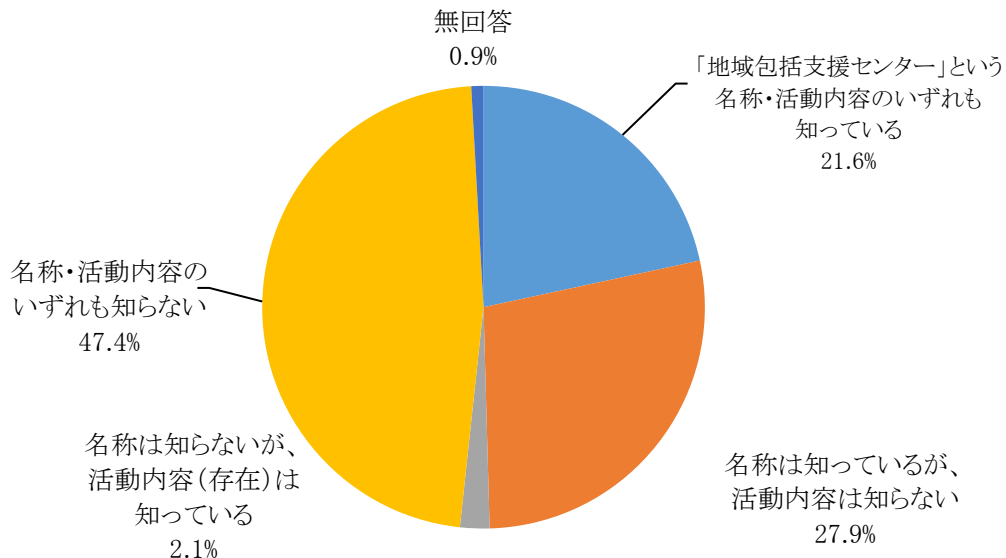
問 13. 旭区において区域を3つのエリアに分け、それぞれ高齢者の支援機関として活動している「地域包括支援センター※」をご存じですか？ n=791

※旭区地域包括支援センター(所在地：高殿 6-16-1)

旭区東部地域包括支援センター(所在地：新森 4-27-13)

旭区西部地域包括支援センター(所在地：中宮 2-15-7)

	項目	全体	割合
1	「地域包括支援センター」という名称・活動内容のいずれも知っている	171	21.6%
2	名称は知っているが、活動内容は知らない	221	27.9%
3	名称は知らないが、活動内容(存在)は知っている	17	2.1%
4	名称・活動内容のいずれも知らない	375	47.4%
99	無回答	7	0.9%
	合計	791	100.0%



全体的傾向	全体では「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、47.4%となっています。次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」27.9%となっています。
年齢別傾向	18歳～29歳では「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く78.8%となっています。また最も低い年代は80歳以上で36.7%となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、最多は5未満で65.2%となっています。次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」が全ての年代で多くなっています。
子育て世帯別傾向	全ての子育て世帯で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、最多は小学校就業前の子育てをしている世帯で61.3%となっています。次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」の割合が多くなっています。

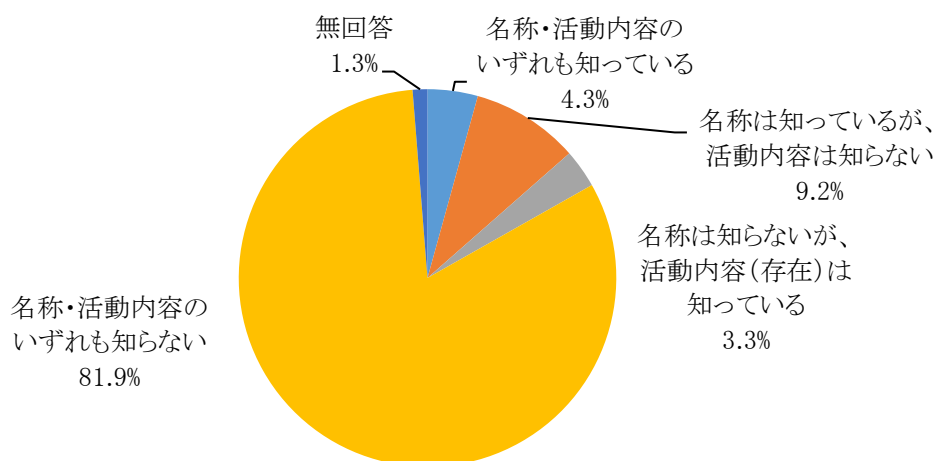
問 14. 地域包括支援センターの役割の一部を担う出張所の総合相談窓口（ブランチ※）  
 をご存じですか？

n=791

※旭陽ブランチ(所在地：高殿 5-10-7)

今市ブランチ(所在地：今市 1-2-2)

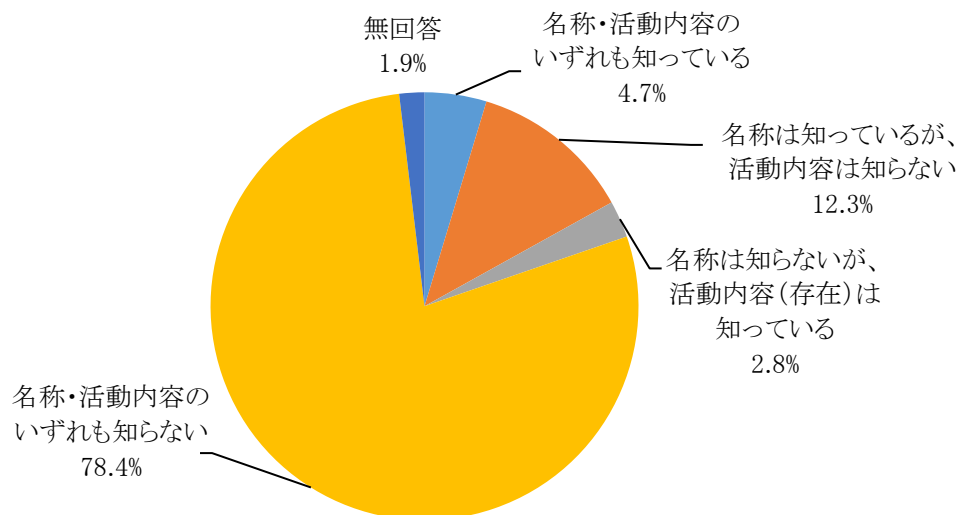
	項目	全体	割合
1	名称・活動内容のいずれも知っている	34	4.3%
2	名称は知っているが、活動内容は知らない	73	9.2%
3	名称は知らないが、活動内容(存在)は知っている	26	3.3%
4	名称・活動内容のいずれも知らない	648	81.9%
99	無回答	10	1.3%
	合計	791	100.0%



全体的傾向	全体では「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、81.9%となっています。次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」9.2%となっています。
年齢別傾向	18歳～29歳では「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く98.1%となっています。また最も低い年代は70歳～79歳で71.2%となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、10年以上20年未満の世帯で89.9%と全ての世帯で最高となっています。次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」が全ての世帯で多くなっています。
子育て世帯別傾向	全ての子育て世帯で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、小学生の子育てをしている世帯で91.7%と全ての世帯で最高となっています。次いで、「名称は知っているが、活動内容は知らない」が多く、中学生の子育てをしている世帯で10.0%と全ての世帯で最高となっています。

問 15. 認知症の方やそのご家族を支援するための、医師・医療職・福祉の専門員で構成する「認知症初期集中支援チーム（あさひさんさんオレンジチーム（所在地：新森 5-3-17）」をご存じですか？ n=791

	項目	全体	割合
1	名称・活動内容のいずれも知っている	37	4.7%
2	名称は知っているが、活動内容は知らない	97	12.3%
3	名称は知らないが、活動内容(存在)は知っている	22	2.8%
4	名称・活動内容のいずれも知らない	620	78.4%
99	無回答	15	1.9%
	合計	791	100.0%



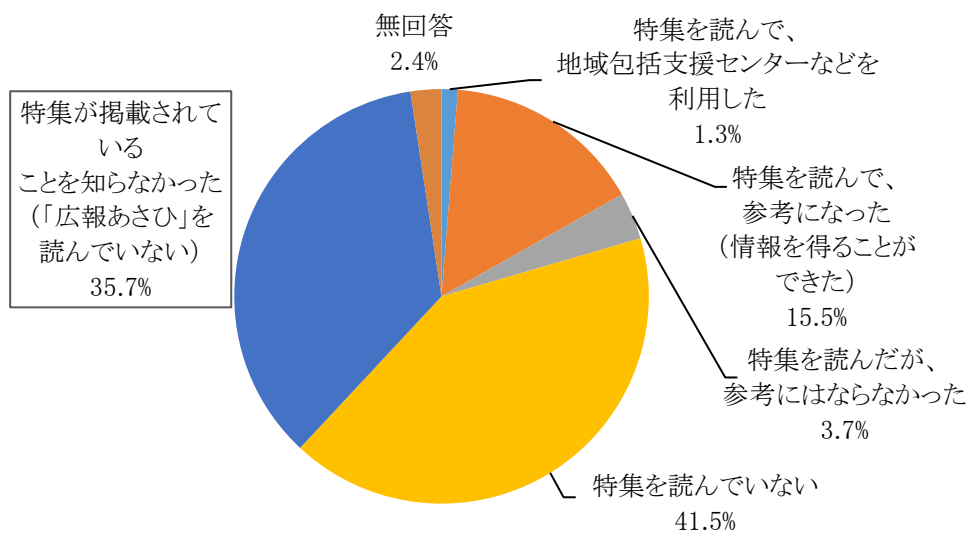
全体的傾向	全体では「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、78.4%となっています。次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」12.3%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、30歳～39歳の方で88.3%と全ての年代で最高となっています。また、最も低い年代は80歳以上で64.3%となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、5年未満の世帯で85.9%と全ての世帯で最高となっています。次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」が全ての世帯で多くなっています。
子育て世帯別傾向	全ての子育て世帯で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、中学生の子育てをしている世帯で100.0%と全ての世帯で最高となっています。次いで、「名称は知っているが、活動内容は知らない」が多く、小学校就学前の子育てをしている世帯で14.5%と全ての世帯で最高となっています。

問 16. 旭区広報紙「広報あさひ」 9月号に地域包括支援センターの紹介など、高齢者に関する特集を掲載しましたが、ご覧になりましたか？

(9月は「高齢者福祉月間」です)

n=791

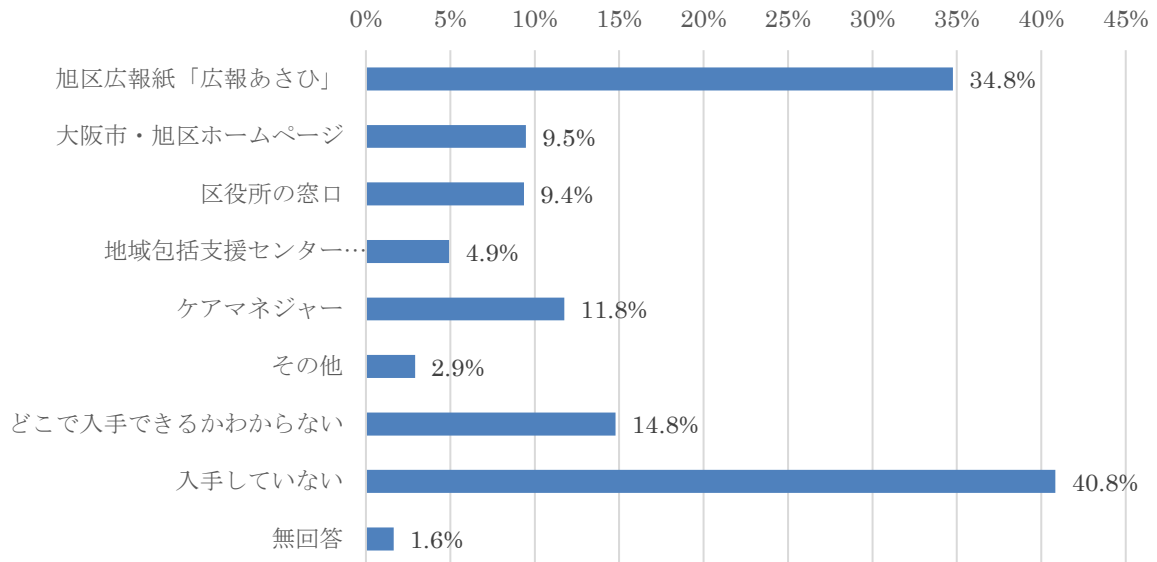
	項目	全体	割合
1	特集を読んで、地域包括支援センターなどを利用した	10	1.3%
2	特集を読んで、参考になった(情報を得ることができた)	123	15.5%
3	特集を読んだが、参考にはならなかった	29	3.7%
4	特集を読んでいない	328	41.5%
5	特集が掲載されていることを知らなかった(「広報あさひ」を読んでいない)□	282	35.7%
99	無回答	19	2.4%
	合計	791	100.0%



全体的傾向	全体では「特集を読んでいない」が最も高く、41.5%となっています。次いで、「特集が掲載されていることを知らなかった(「広報あさひ」を読んでいない)」35.7%となっています。
年齢別傾向	18歳～29歳、30歳～39歳の方は「特集が掲載されていることを知らなかった(「広報あさひ」を読んでいない)」が最も高くなっています。40歳以上の方は「特集を読んでいない」が最も高くなっています。
居住年数別傾向	5年未満、20年以上30年未満の世帯では「特集が掲載されていることを知らなかった(「広報あさひ」を読んでいない)」が最も高くなっています。その他の世帯は「特集を読んでいない」が最も高くなっています。
子育て世帯別傾向	小学校就学前の子育てをしている世帯では「特集が掲載されていることを知らなかった(「広報あさひ」を読んでいない)」が最も高くなっています。その他の世帯は「特集を読んでいない」が最も高くなっています。

問 17. 高齢者の方を対象としたサービス・事業に関する情報はどのように入手されていますか？あてはまるものをすべて選んでください。 n=1,032

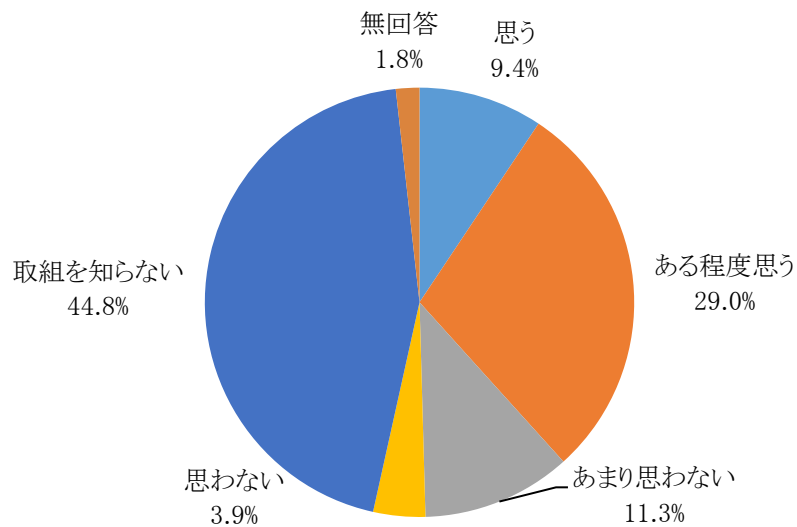
	項目	全体	割合
1	旭区広報紙「広報あさひ」	275	34.8%
2	大阪市・旭区ホームページ	75	9.5%
3	区役所の窓口	74	9.4%
4	地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ランチ)	39	4.9%
5	ケアマネジャー	93	11.8%
6	その他	23	2.9%
7	どこで入手できるかわからない	117	14.8%
8	入手していない	323	40.8%
99	無回答	13	1.6%
	合計	1,032	130.5%



全体的傾向	全体では「入手していない」が最も高く、40.8%となっています。次いで、「旭区広報紙「広報あさひ」」34.8%となっています。
年齢別傾向	18歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳の方は「入手していない」が最も高くなっています。50歳以上の方は「旭区広報紙「広報あさひ」」が最も高くなっています。
居住年数別傾向	居住年数30年未満の全ての世帯では「入手していない」が最も高くなっています。居住年数30年以上の世帯は「旭区広報紙「広報あさひ」」が最も高くなっています。
子育て世帯別傾向	全ての子育て世帯で「入手していない」が最も高くなっています。中学生の子育てをしている世帯で61.9%と最も高くなっています。子育てをしていない世帯は29.2%と最も低くなっています。

問 18. 旭区では、高齢の方やその家族の方がさまざまなことについて、相談やサポートを受けられるようになってきていると思いますか？ n=791

	項目	全体	割合
1	思う	74	9.4%
2	ある程度思う	229	29.0%
3	あまり思わない	89	11.3%
4	思わない	31	3.9%
5	取組を知らない	354	44.8%
99	無回答	14	1.8%
合計		791	100.0%



全体的傾向	全体では「取組を知らない」が最も高く、44.8%となっています。次いで「ある程度思う」29.0%、「あまり思わない」11.3%、「思う」9.4%、「思わない」3.9%となっています。
年齢別傾向	60歳～69歳、80歳以上の年代で「ある程度思う」が最も高くなっています。その他の年代では「取組を知らない」が最も高くなっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「取組を知らない」が最も高く、5年未満の世帯で58.7%と最高となっています。次いで「ある程度思う」が最も高くなっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「取組を知らない」が最も高く、中学生の子育てをしている世帯で60.0%と最高となっています。小学校就学前の子育てをしている世帯は43.5%と最も低くなっています。

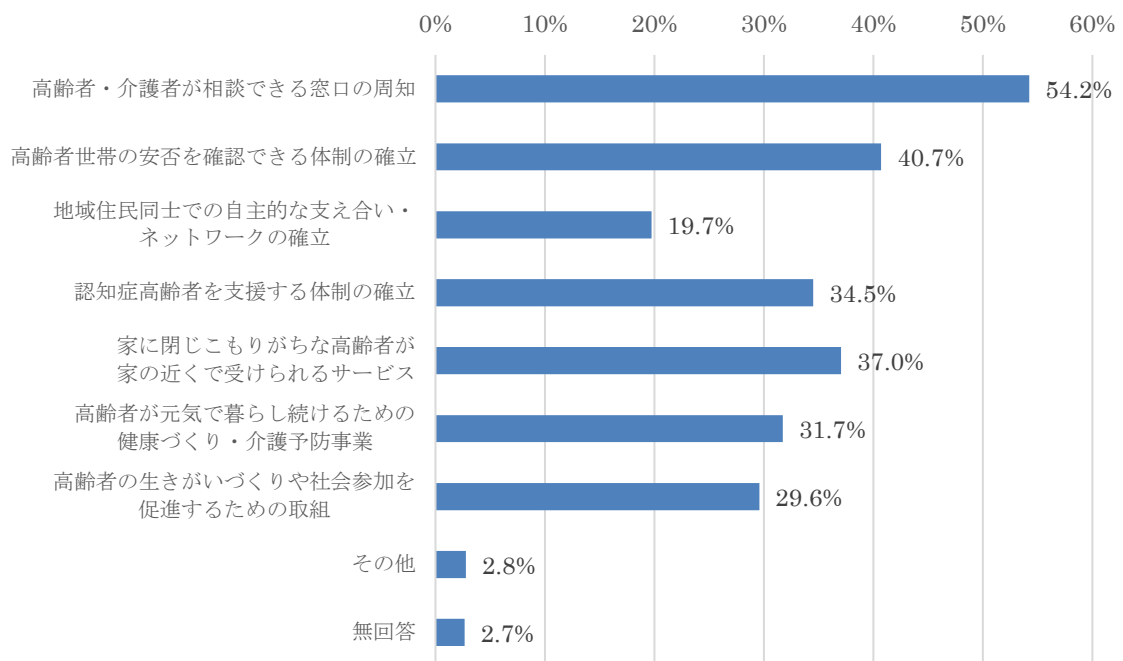


問 19. 高齢者施策に関して、今後充実すべきと思うことは何ですか？

3つまで選んでください。

n=2,001

	項目	全体	割合
1	高齢者・介護者が相談できる窓口の周知	429	54.2%
2	高齢者世帯の安否を確認できる体制の確立	322	40.7%
3	地域住民同士での自主的な支え合い・ネットワークの確立	156	19.7%
4	認知症高齢者を支援する体制の確立	273	34.5%
5	家に閉じこもりがちな高齢者が家の近くで受けられるサービス	293	37.0%
6	高齢者が元気で暮らし続けるための健康づくり・介護予防事業	251	31.7%
7	高齢者の生きがいがづくりや社会参加を促進するための取組	234	29.6%
8	その他	22	2.8%
99	無回答	21	2.7%
	合計	2,001	253.0%



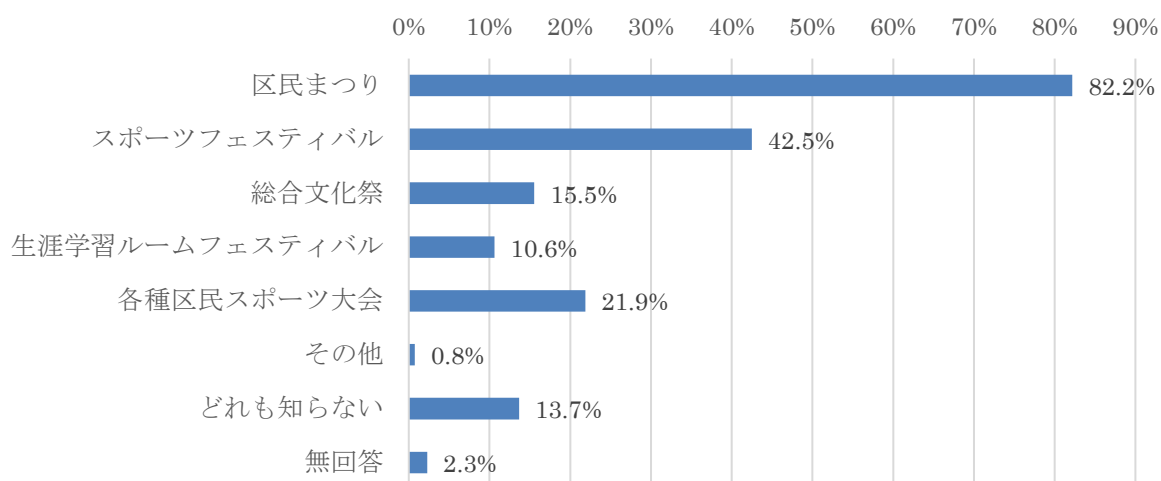
全体的傾向	全体では「高齢者・介護者が相談できる窓口の周知」が最も高く54.2%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「高齢者・介護者が相談できる窓口の周知」が最も高く、60歳～69歳が24.1%と最高となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「高齢者・介護者が相談できる窓口の周知」が最も高く、10年以上20年未満が24.0%と最高となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「高齢者・介護者が相談できる窓口の周知」が最も高く、中学生の子育てをしている世帯が23.1%と最高となっています。

### 【3】 地域コミュニティの活性化とまちの魅力の創出に向けた取組について

問 20. 旭区役所では、地域の各種団体と協働で、コミュニティ活性化のための催しを開催しています。次の中から、知っている催しをすべて選んでください。

n=1,498

	項目	全体	割合
1	区民まつり(毎年8月第4土曜に開催)	650	82.2%
2	スポーツフェスティバル(毎年11月初旬に開催)	336	42.5%
3	総合文化祭(令和4年3月19日(土)・20日(日)開催予定)	123	15.5%
4	生涯学習ルームフェスティバル(毎年3月第1日曜に開催)	84	10.6%
5	各種区民スポーツ大会(卓球・ゲートボール・軟式野球・ソフトテニス・バドミントン・ソフトボール・バレーボール・水泳・日本拳法・ゴルフ・剣道・グラウンドゴルフ・空手・マラソン・サッカー)	173	21.9%
6	その他	6	0.8%
7	どれも知らない	108	13.7%
99	無回答	18	2.3%
	合計	1,498	189.4%

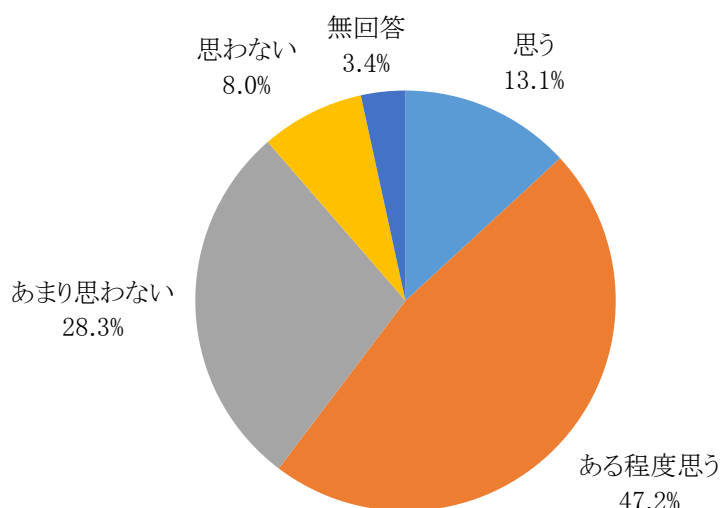


全体的傾向	全体では「区民まつり」が最も高く、82.2%となっています。次いで「スポーツフェスティバル」42.5%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「区民まつり」が最も高く、70歳～79歳が46.0%と最高となっています。
居住年数別傾向	5年未満以外の居住年数で「区民まつり」が最も高くなっています。5年未満の居住年数では「どれも知らない」が43.9%と最高となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「区民まつり」が最も高く、小学校就学前の子育てをしている世帯が47.4%と最高となっています。

問 21. 旭区役所では、「区民まつり（8月）」、「旭区の秋・冬を楽しもう!!（11月）」、「スポーツフェスティバル（11月）」、「総合文化祭（3月開催予定）」を開催するなど、地域の活性化に取り組んでいます。旭区において、地域のにぎわいや活性化が進んでいると思いますか？

n=791

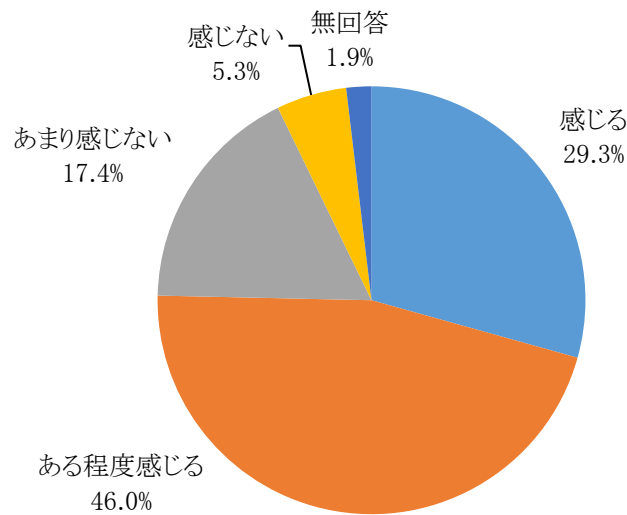
	項目	全体	割合
1	思う	104	13.1%
2	ある程度思う	373	47.2%
3	あまり思わない	224	28.3%
4	思わない	63	8.0%
99	無回答	27	3.4%
	合計	791	100.0%



全体的傾向	全体では「ある程度思う」が最も高く、47.2%となっています。次いで「あまり思わない」28.3%、「思う」13.1%、「思わない」8.0%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「ある程度思う」が最も高く、30歳～39歳が50.6%と最高となっています。18歳～29歳は44.2%と最低となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「ある程度思う」が最も高く、10年以上20年未満が48.5%と最高となっています。5年以上10年未満は、41.9%と最低となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「ある程度思う」が最も高く、小学生の子育てをしている世帯が60.4%と最高となっています。子育てをしていない世帯は、46.1%と最低となっています。

問 22. 旭区役所では、区を誇りに思い、郷土愛や愛着を深めてもらうとともに、多くの人々が訪れる活気あるまちの実現に向けて各種イベントの開催などに取り組んでいます。あなたは、旭区に愛着を感じますか？ n=791

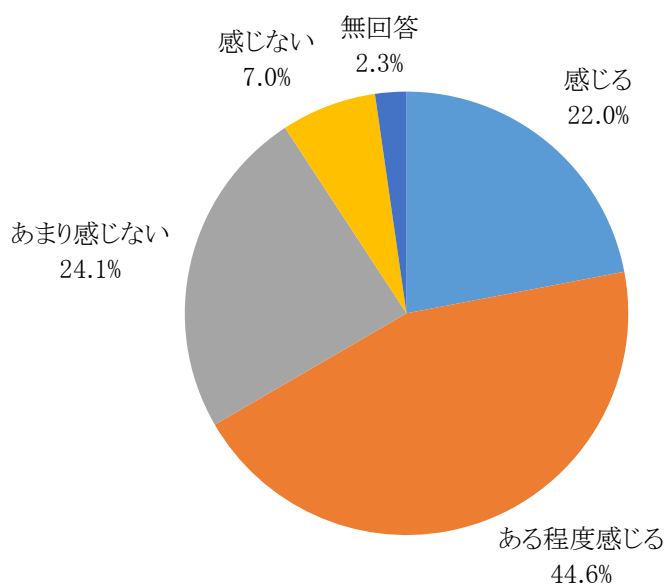
	項目	全体	割合
1	感じる	232	29.3%
2	ある程度感じる	364	46.0%
3	あまり感じない	138	17.4%
4	感じない	42	5.3%
99	無回答	15	1.9%
	合計	791	100.0%



全体的傾向	全体では「ある程度感じる」が最も高く、46.0%となっています。次いで「感じる」29.3%、「あまり感じない」17.4%、「感じない」5.3%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「ある程度感じる」が最も高く、50歳～59歳が53.7%と最高となっています。70歳～79歳は39.9%と最低となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「ある程度思う」が最も高く、5年以上10年未満が59.7%と最高となっています。5年未満は、43.5%と最低となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「ある程度感じる」が最も高く、小学校就学前の子育てをしている世帯が53.2%と最高となっています。中学生の子育てをしている世帯は、30.0%と最低となっています。

問 23. 区内の商店街ではイベントを行うなど地域とのつながりを大切にしています。あなたは、旭区内の商店街に魅力を感じますか？ n=791

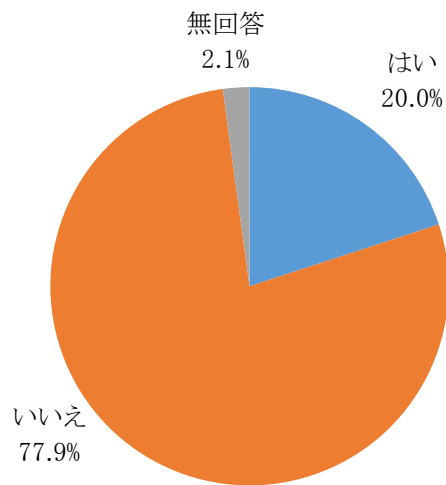
	項目	全体	割合
1	感じる	174	22.0%
2	ある程度感じる	353	44.6%
3	あまり感じない	191	24.1%
4	感じない	55	7.0%
99	無回答	18	2.3%
	合計	791	100.0%



全体的傾向	全体では「ある程度感じる」が最も高く、44.6%となっています。次いで「あまり感じない」24.1%、「感じる」22.0%、「感じない」7.0%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「ある程度感じる」が最も高く、30歳～39歳が49.4%と最高となっています。18歳～29歳は30.8%と最低となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「ある程度思う」が最も高く、30年以上が46.5%と最高となっています。5年以上10年未満は、40.3%と最低となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「ある程度感じる」が最も高く、小学校就学前の子育てをしている世帯が45.2%と最高となっています。小学生の子育てをしている世帯は、37.5%と最低となっています。

問 24. 旭区役所では、旭区の魅力向上のために、「旭区ブランド (いち押しを含む)」・「旭わがまちお宝」を認定していますが、その取組をご存知ですか？ n=791

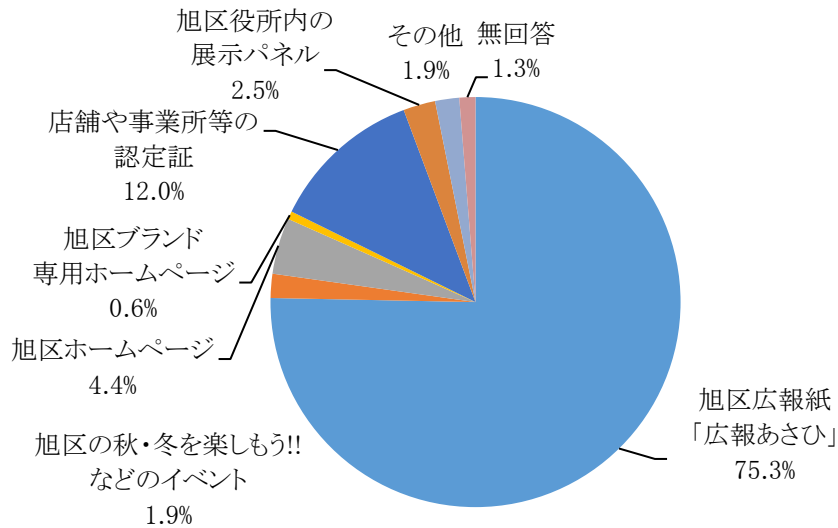
	項目	全体	割合
1	はい	158	20.0%
2	いいえ	616	77.9%
99	無回答	17	2.1%
	合計	791	100.0%



全体的傾向	全体では「いいえ」が最も高く、77.9%となっています。次いで「はい」20.0%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「いいえ」が最も高く、18歳～29歳が94.2%と最高となっています。80歳以上は72.4%と最低となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「いいえ」が最も高く、5年未満が90.2%と最高となっています。30年以上は、75.0%と最低となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「いいえ」が最も高く、子育てをしていない世帯が79.0%と最高となっています。小学生の子育てをしている世帯は、70.0%と最低となっています。

問 25. 《問 24 で選択肢「1」を選ばれた方にお聞きします》「旭区ブランド（いち押しを含む）・「旭わがまちお宝」をどこで知りましたか？ n=158

	項目	全体	割合
1	旭区広報紙「広報あさひ」	119	75.3%
2	旭区の秋・冬を楽しもう!!などのイベント	3	1.9%
3	旭区ホームページ	7	4.4%
4	旭区ブランド専用ホームページ	1	0.6%
5	店舗や事業所等の認定証	19	12.0%
6	旭区役所内の展示パネル	4	2.5%
7	その他	3	1.9%
99	無回答	2	1.3%
	合計	158	100.0%



全体的傾向	全体では「旭区広報紙「広報あさひ」」が最も高く、75.3%となっています。一方「旭区ブランド専用ホームページ」が最も低く0.6%となっています。
年齢別傾向	18歳～29歳以外の年代で「旭区広報紙「広報あさひ」」が最も高く、60歳～69歳が87.1%と最高となっています。18歳～29歳は「旭区の秋・冬を楽しもう!!などのイベント」が最も高く、66.7%と最高となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「旭区広報紙「広報あさひ」」が最も高く、20年以上30年未満が81.3%と最高となっています。5年以上10年未満は、61.1%と最低となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「旭区広報紙「広報あさひ」」が最も高く、中学生の子育てをしている世帯が83.3%と最高となっています。小学校就学前の子育てをしている世帯は、57.1%と最低となっています。

問 26. 旭区では、区の魅力を高める取組を行っています。

あなたが、旭区の魅力として紹介したいものはありますか？ n=223

全体で、223件の自由記述がありました。

旭区の魅力として紹介したいものとして、223件の記述のうち、約4割が「商店街」に関する事、続いて「城北公園」、「交通の利便性」に関する事の記述が多くありました。

【自由記述内容】 ※一部抜粋

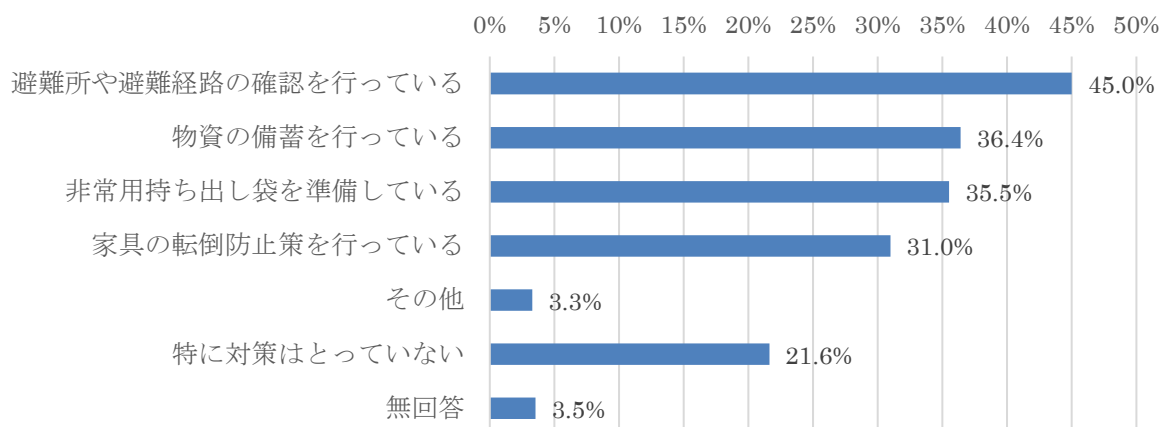
衣食住、医療においても活気あふれる千林商店街など暮らしやすい
城北公園、芝生とベンチの配置が素晴らしい、桜など季節ごとの風景の良さ
旧街道に囲まれた町（歴史がある） 鉄道に囲まれ交通が便利良い
暮らしていく為に必要なものが近くにそろっている
安全で下町感が魅力的やと思う



#### 【4】地域防災力・地域防犯力の強化に向けた取組について

問 27. 災害に備えて、避難所や避難経路の確認、物資の備蓄、非常用持ち出し袋、家具の転倒防止策など自助の取組が大切です。あなたの家庭では、何らかの防災対策をとっていますか？次の中から、行っている対策をすべて選んでください。  
n=1,395

	項目	全体	割合
1	避難所や避難経路の確認を行っている	356	45.0%
2	物資の備蓄を行っている	288	36.4%
3	非常用持ち出し袋を準備している	281	35.5%
4	家具の転倒防止策を行っている	245	31.0%
5	その他	26	3.3%
6	特に対策はとっていない	171	21.6%
99	無回答	28	3.5%
	合計	1,395	176.4%



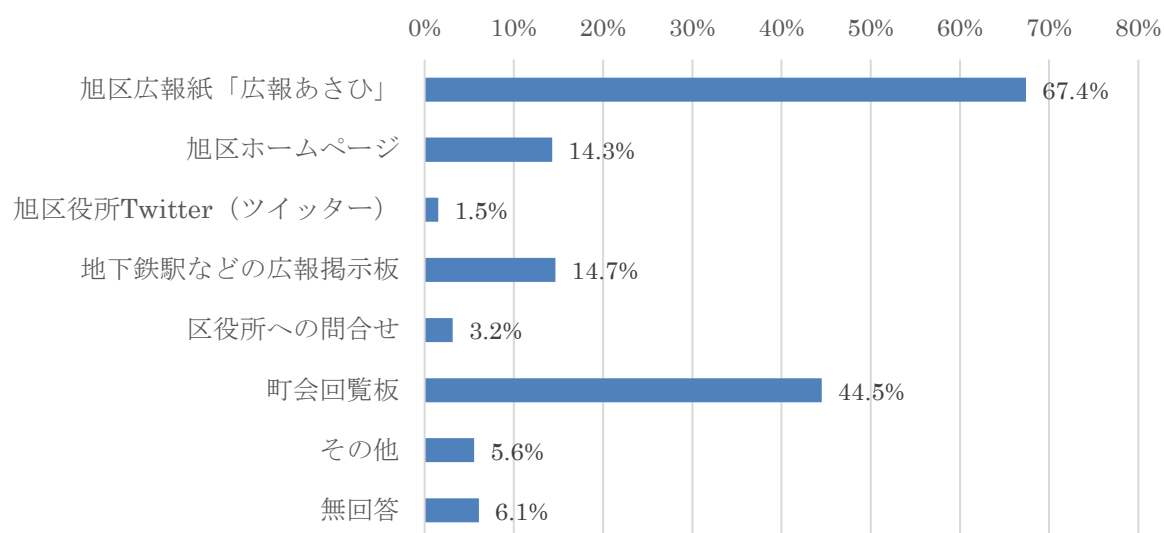
全体的傾向	全体では「避難所や避難経路の確認を行っている」が最も高く、45.0%となっています。一方「その他」が最も低く3.3%となっています。
年齢別傾向	70歳以上の年代で「避難所や避難経路の確認を行っている」と回答した割合が高く、ともに29.3%となります。一方、40歳～49歳は22.3%と最も低くなっています。
居住年数別傾向	5年以上10年未満を除く居住年数で「避難所や避難経路の確認を行っている」と回答した割合が高くなっています。5年以上10年未満の居住年数では「物資の備蓄を行っている」が最も高く、26.3%となっています。
子育て世帯別傾向	小学校の子育てをしている世帯は「避難所や避難経路の確認を行っている」と回答した割合が高く26.7%となっています。中学校の子育てをしている世帯では「物資の備蓄を行っている」が最も高く29.7%、小学校就業前の子育てをしている世帯では「非常用持ち出し袋を準備している」が最も高く24.4%となっています。

## 【5】広報について

問 28. 旭区の区政情報やイベント情報を何から入手していますか？あてはまるものをすべて選んでください。

n=1, 243

	項目	全体	割合
1	旭区広報紙「広報あさひ」	533	67.4%
2	旭区ホームページ	113	14.3%
3	旭区役所Twitter(ツイッター)	12	1.5%
4	地下鉄駅などの広報掲示板	116	14.7%
5	区役所への問合せ	25	3.2%
6	町会回覧板	352	44.5%
7	その他	44	5.6%
99	無回答	48	6.1%
	合計	1,243	157.1%

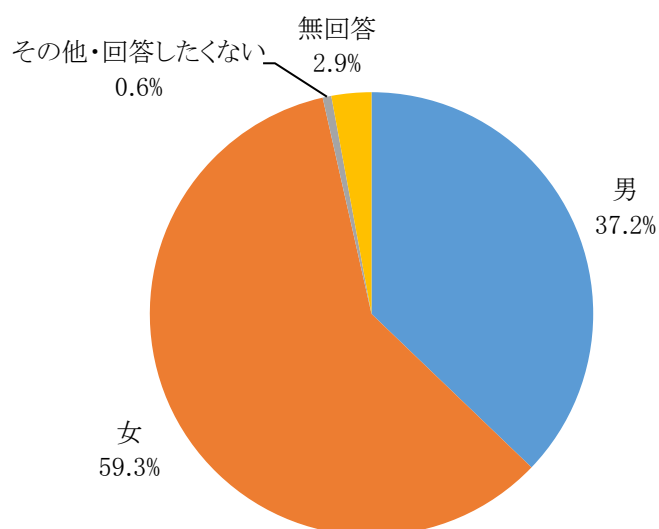


全体的傾向	全体では「旭区広報紙「広報あさひ」」が最も高く、67.4%となっています。一方「旭区役所 Twitter」が最も低く 1.5%となっています。
年齢別傾向	30 歳以上の年代で「旭区広報紙「広報あさひ」」と回答した割合が最も高くなっています。一方、18 歳～29 歳では「地下鉄駅などの広報掲示板」が 23.2%と最も高くなっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「旭区広報紙「広報あさひ」」が最も高く、5 年以上 10 年未満、30 年以上がともに 46.2%と最高となっています。5 年未満は、35.0%と最低となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「旭区広報紙「広報あさひ」」が最も高く、子育てをしていない世帯が 44.3%と最高となっています。小学生の子育てをしている世帯は、34.4%と最低となっています。

## 【6】あなたご自身についてお聞きします

問 29. あなたの性別をお答えください。n=791

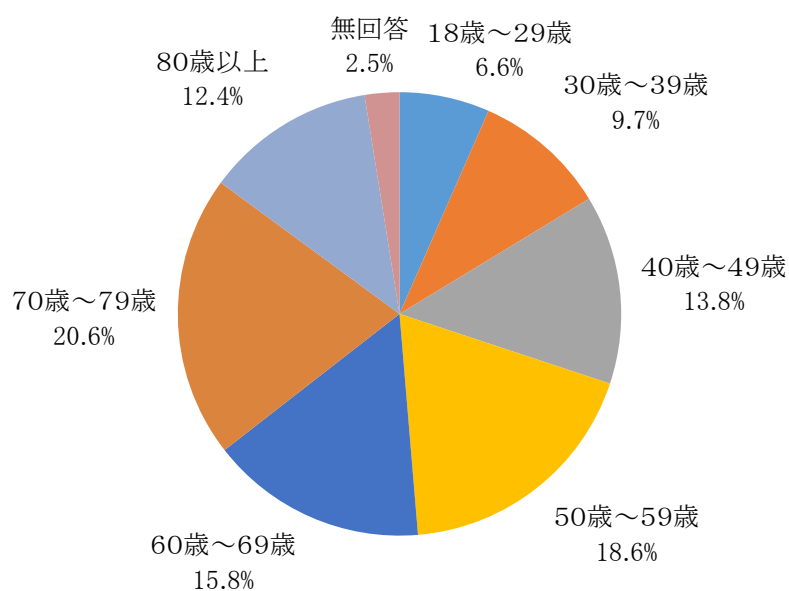
	項目	全体	割合
1	男	294	37.2%
2	女	469	59.3%
3	その他・回答したくない	5	0.6%
99	無回答	23	2.9%
	合計	791	100.0%



全体的傾向	男性が 37.2%、女性が 59.3%となっています。
年齢別傾向	対象外
居住年数別傾向	対象外
子育て世帯別傾向	対象外

問 30. あなたの年齢をお答えください。n=791

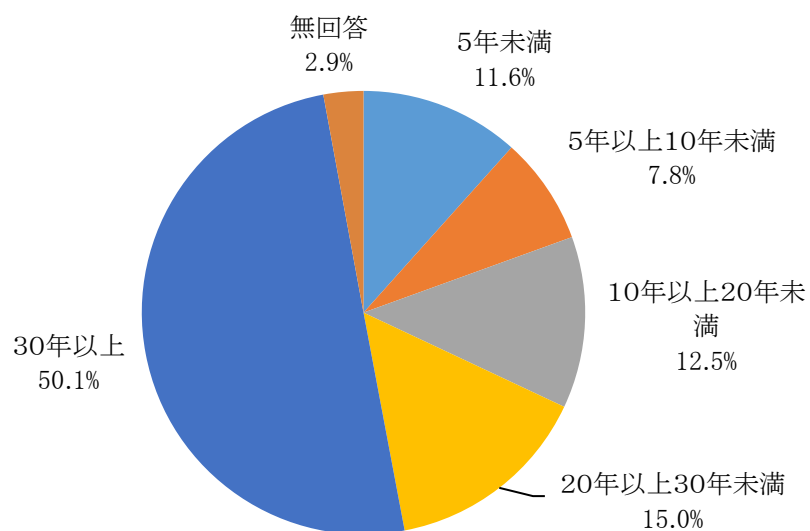
		全体	割合
1	18歳～29歳	52	6.6%
2	30歳～39歳	77	9.7%
3	40歳～49歳	109	13.8%
4	50歳～59歳	147	18.6%
5	60歳～69歳	125	15.8%
6	70歳～79歳	163	20.6%
7	80歳以上	98	12.4%
99	無回答	20	2.5%
合計		791	100.0%



全体的傾向	70歳～79歳の割合が最も高く、20.6%となっています。次いで50歳～59歳で18.6%、60歳～69歳で15.8%となっています。
年齢別傾向	対象外
居住年数別傾向	対象外
子育て世帯別傾向	対象外

問 31. 旭区にお住まいになられてどれくらいになりますか？ n=791

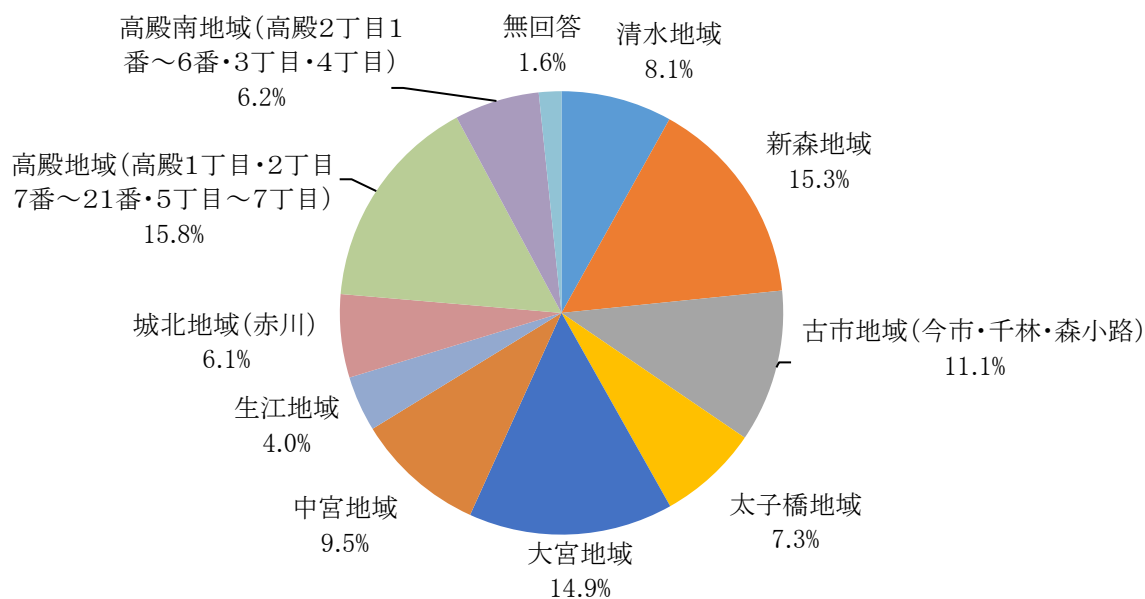
	項目	全体	割合
1	5年未満	92	11.6%
2	5年以上10年未満	62	7.8%
3	10年以上20年未満	99	12.5%
4	20年以上30年未満	119	15.0%
5	30年以上	396	50.1%
99	無回答	23	2.9%
	合計	791	100.0%



全体的傾向	30年以上の割合が最も高く、50.1%となっています。次いで20年以上30年未満で15.0%、10年以上20年未満で12.5%となっています。
年齢別傾向	対象外
居住年数別傾向	対象外
子育て世帯別傾向	対象外

問 32. 現在お住まいの地域をお答えください。 n=791

	項目	全体	割合
1	清水地域	64	8.1%
2	新森地域	121	15.3%
3	古市地域(今市・千林・森小路)	88	11.1%
4	太子橋地域	58	7.3%
5	大宮地域	118	14.9%
6	中宮地域	75	9.5%
7	生江地域	32	4.0%
8	城北地域(赤川)	48	6.1%
9	高殿地域(高殿1丁目・2丁目7番～21番・5丁目～7丁目)	125	15.8%
10	高殿南地域(高殿2丁目1番～6番・3丁目・4丁目)	49	6.2%
99	無回答	13	1.6%
	合計	791	100.0%

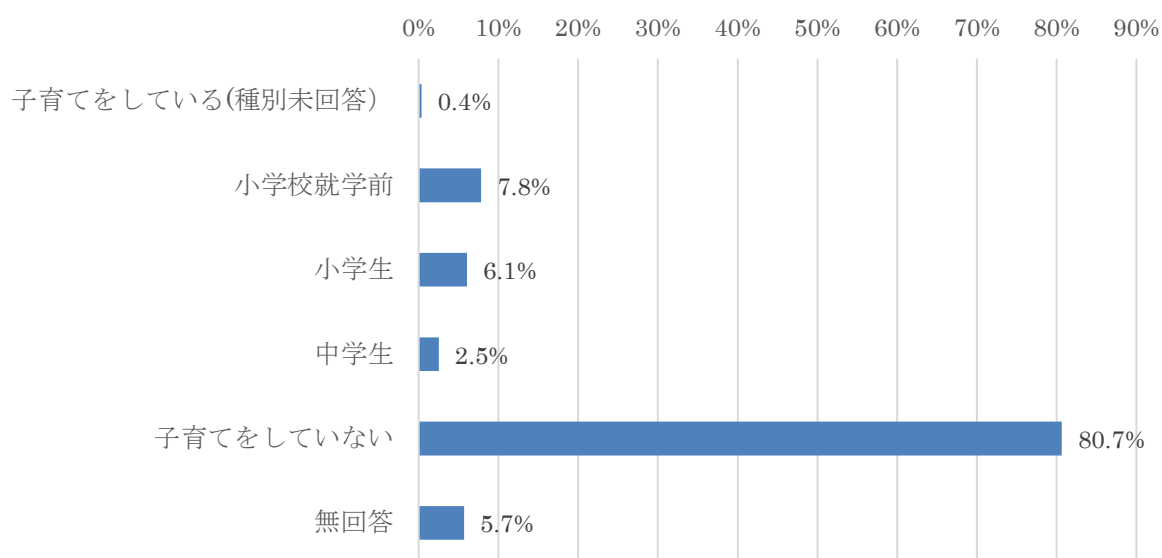


全体的傾向	高殿地域の割合が最も高く、15.8%となっています。次いで新森地域で15.3%、大宮地域で14.9%となっています。
年齢別傾向	対象外
居住年数別傾向	対象外
子育て世帯別傾向	対象外

問 33. 現在、中校生以下のお子さまの子育てをしていますか？

なお、「子育てをしている」の場合は（ ）内の区分のうち、お子さまに該当するものすべてに☑を付けてください。 n=816

	項目	全体	割合
0	子育てをしている(種別未回答)	3	0.4%
1	小学校就学前	62	7.8%
2	小学生	48	6.1%
3	中学生	20	2.5%
2	子育てをしていない	638	80.7%
99	無回答	45	5.7%
	合計	816	103.2%



全体的傾向	子育てをしていない世帯の割合が最も高く、80.7%となっています。次いで小学校就学前の子育てをしている世帯で7.8%となっています。
年齢別傾向	対象外
居住年数別傾向	対象外
子育て世帯別傾向	対象外

## 令和3年度 旭区民アンケート 報告書

発行年月 令和4年3月  
発行 大阪市旭区役所 企画総務課（企画調整）  
〒535-8501 大阪市旭区大宮1丁目1番17号  
電話 06-6957-9683/FAX 06-6952-3247